

「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業」

1. 趣 旨

ボランティア養成セミナーの受講者向けのスキルアップ講習として、楽しく安全に活動を指導するための自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和5年6月24日（土）～6月25日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

- ①参加対象 ボランティア養成セミナー受講者
- ②参加人数 19名（申込26名、キャンセル7名）
- ③参加者の内訳 高校生6名、大学生8名、社会人5名（職員1名）
- ④修了者数 19名

3. 企画運営のポイント

- (1) 参加者の確保を図るため、ボランティア活動や自然体験活動への活動意欲に溢れているボランティア養成セミナー直後に開催した。
- (2) ボランティア養成セミナーからのスキルアップという位置づけで、指導者として必要な知識や技能を座学だけではなく、実践を通して学べるようにプログラムデザインをした。
- (3) 主体的な学びの場を提供するために、講義・演習において参加者同士の交流を深める仕掛けや、相互学習する時間を意図的に設けた。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
6月24日 (土)	開講式 説明「NEAL制度ガイド ンス」 講師：国立妙高青少年 自然の家 次長 桑山宗大 氏 実技「自然体験活動の 技術」 講師：国立妙高青少年 自然の家 次長 桑山宗大 氏	講義「対象者理解」 講師：群馬大学 准教授 大島みずき氏 講義「自然体験活動の指 導」 講師：大東文化大学 教授 中村正雄 氏	実技「自然体験活動の 技術」 講師：キープ協会 佐藤陽介 氏
6月25日 (日)	講義「自然体験活動 の特質」 講師：キープ協会 佐藤陽介 氏	説明「NEAL制度ガイダ ンス」 講師：国立妙高青少年自 然の家 次長 桑山宗大 氏 認定試験 閉講式	

5. 主な活動内容



「ガイダンス」



「自然体験活動の技術」



「対象者理解」



「自然体験活動の指導」



「自然体験活動の技術」



「自然体験活動の特質」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

事業全体：満足 18 名（95%）、やや満足 1 名（5%）

(2) 参加者の声

- ①「自然体験活動指導者（NEALリーダー）」として持つべき意識（身だしなみ、雰囲気、立ち位置）などを忘れずに、子どもたちに自然を好きになってもらえるような活動に取り組みたい。」
- ②「子どもたちに、自然の中で「気づく楽しさ」を感じてもらうため、指導者としてどんな視点を持つべきなのかを学べたので、今後の活動の中で実践したい。」

(3) 成果

- ①意識の高い参加者が多い傾向であることが事前に把握できていたため、各講師へ質問を受ける機会を確保できるよう協力いただいた。結果、受講者からの数多くの質問があり、主体的な学びの場を提供することができた。
- ②専門家を各講義の講師として招聘することにより、専門家ならではの視点や経験を踏まえた講義・演習を実施することができた。専門家による講義内容は、参加者からのアンケート結果の評価が高く、受講者の知識習熟に良い影響を与えたといえる。

(4) 課題

- ①参加者より、講義時間が伸びたことに対し残念である旨の意見があった。長時間の講義であることから、初日の開始時間を見直すなど参加者への負担軽減を検討する必要がある。
- ②今後も、NEAL事業については専門性の高い講師陣を迎える必要がある。今回も参加者から高い満足度を得ることができたが、従来の講師に固執することなく、講師候補者のリストアップを行い、質の高い事業実施に努める必要がある。
- ③実施日が高校生のテスト期間であることからボランティアセミナー受講者のうち、6名が参加を辞退したため、開催時期の検討が必要である。

担当：中谷、杉山